

# 三菱電機の映像ソリューション

室園 透\*  
岩竹隆史\*\*

*The Display Solution of Mitsubishi Electric*

*Toru Murozono, Takashi Iwatake*

## 要 旨

三菱電機の大型映像表示装置「オーロラビジョン」は、国内外のスタジアムや、公営競技場などを中心に市場を拡大してきた。近年LED(Light Emitting Diode)方式の表示素子が普及し、軽量・長寿命と合わせて低コスト化が進み、遊技場などで使われる小型のインフォメーションボードなど新たな市場も拡大している。

当社では、表示部の高画質化、高機能化と、様々な用途に対応するシステム化技術の開発に注力してきた。まず、表示部の高画質化では、LED素子ごとの輝度調整や独自の色度変換技術などの開発を行っている。また、高機能化では外光による自動輝度調整機能、映像信号に応じた自動電力制御機能を開発し、表示用コントローラは、パソコンのDVK(Digital Visual Interface)信号を直接入力可能でコ

ンパクトなタイプや、ハイビジョン信号4系統を同時に入力できるハイスpekクなタイプも開発している。さらに、表示用ソフトウェアは当社独自で開発し、スクリーン上にスムーズな流し文字表示、動画表示、特殊効果表示などを実現している。

一方、システム化技術として、スタジアムや公営競技場などに納める専用システムや、遊技場などに納める簡易システムなどをそろえ、ユーザーのニーズにこたえている。また、近年では映像のデジタル化を受けて、ハイビジョンコンテンツのストリーミング配信機能を開発し、映像情報システムの付加価値を高めた市場展開を進めている。

当社では、これらの映像ソリューションを有効に活用して、今後も市場の開拓と拡大を図っていく所存である。



JRA東京競馬場納めオーロラビジョン

世界最大のスクリーン(縦11.2m×横66.4m、輝度5,000cd/m<sup>2</sup>)としてギネス世界記録に認定されている。